

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるって くるぶ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

あるって くるぶギャラリー

—活動のご報告—

◇あるって くるぶ 発会記念 『井草裕明展』
1998年12月3日より13日まで現代アートの、井草裕明さんの個展がアルテクラブ企画としては初めて開かれました。初日は雪が降り、外はとても寒く、でもギャラリーは作品のテーマ“夢のアトリエ”、しあわせ色に包まれて心の中から暖かくなりました。会場には作品のモチーフの提供者で井草さんのお嬢さんの「はなちゃん」もやってきました。ここは自分の家だと思ったことでしょう。又、井草さんの生徒さん達がたくさん来て下さりみんなしあわせの種を何処かにくっつけてまちへ帰って行ったように見えました。
会期中の来場者は200名を超えたと思われます。

◇インドネシア・バリ島の布と絵画 小品展
会期：1999年1月22日～31日
バリ島で、農作業の合間に絵を描いている方達の展示でした。どこまでも妥協のない細密画で、しかも色調は渋くて淡いもので、多くの方に受け入れられやすい作品でした。とくに、「かえる」のシリーズは人間の社会生活への風刺も込められ、楽しくて元気のでる作品でした。

あるって くるぶ組曲 高橋道弘
2、風の予感 井草裕明 '98.12.6(日)
月の砂を人の足が歩み、木の葉が連れそった。
空気のない月の表面に、人々の風がたしかなものになる。

2千年前に弥生人が田にいて、はるな山の噴火を見た。
人はみな歩いて喋り、愛し、育て、老いていった。

6万年前に人は生まれた、ヨーロッパにアジアに拡がった。
アルプスに足跡が残り、イラン高原に葬花が祭られた。

180万年前にあけぼの象が、人間河原を歩んだ
お、ばたぐるみが実り、あけぼの杉が生い茂った。

2億年前に恐竜がのし歩き、10億年前にぞうり虫がおよぎ、
地球が生まれ、銀河が始まり、宇宙がはざたのでりました。

アルテ クラブ 事務局：草野建築設計事務所・草野 律子

—これからのスケジュール—

◆美術館探訪・東京都現代美術館の見学
期日・1999.2月13日(土)2時より
場所・東京都江東区三好4-1-1 Tel. 03-5245-4111
企画展・3階：もっとアニュアル、
ひそやかなラディカリズム
1階、地下2階：アクション
—行為がアートになる時 1949～1979
・日が暮れたら両国橋付近でどぜう鍋の予定、
鍋のみのご参加も歓迎します。
・当日の連絡は090-3699-0936(草野)

圓城寺俊之展「平面」 1999年3月4日～14日
オープニング・ミニコンサートを予定しています
テーマ：個展のサウンドトラック
演奏：バンド「ZERO VOID」

金子 清美展「平面」 1999年4月8日～18日
オープニング・ミニコンサートを予定しています

藤井 龍徳展「インスタレーション」 1999年6月
3～13日 コンセプトは「ふりそそぐ」の予定です
右城真・林義治展「古楽器製作」 1999年7月8～18日
7月10日(土)17:00～オープニングパーティー
立川 叔男(リュート奏者)氏による古楽器の演奏
があります。

百鬼丸展「切り絵」 1999年9月2日～12日

根岸 和弘展「平面」 1999年10月21日～31日

和田 章 展「陶」 1999年11月18日～28日

たべけんぞう展「立体」 1999年12月9日～19日

楽しくて、ちょっと悲しいクリスマスの展示です

—これから企画します—

何か思い付いたらご提案下さい。

会期末定：コラボレーション・「わっはっは」

この日は「わらって くるぶ」といいます

会期末定：木彫(立体)

(1)

電話 03-3866-0245 ファクス 03-3866-0246

三番町ギャラリー：川越市南通町14-3 電話 0492-26-7735

あるってくるび ワークショップ

—活動のご報告—

■ 古代東海道の駅路を歩こう！ ⑤

「TEKU・TEKU+あるく会」

1999年1月30日(土) 11:10～17:00

総武線・千葉駅～登渡神社(旧河曲駅)～中央区役所+市立美術館(昼食)～亥鼻公園(千葉城址)～千葉寺～青葉の森公園(東金街道保存遺構)～生実池～北生実城址～森川氏陣屋跡～南生実城址(旧大倉駅)～八剣神社～学園前駅

[歩行約12km、参加者17名ぐらい]

「アルテ クルブ」からは 川口陽子、高橋道弘、草野光廣、草野律子の4名が参加しました。

活動主旨 ■ 奈良・平安の中央集権国家時代には、都から全国に向けて『官道』が整備された。約16kmごとに駅家が置かれ、幅員6～12mの立派な側溝付舗装道路が、ほぼ一直線の最短距離で各地の国府を結んでいた。従来は記録文書からの推定の域を出なかったが、近年になって各地の発掘等で実態が判明しつつある。昨年常陸、武蔵、相模に続き、今回は下総方面を推定し、探索したい。時あたかも世紀末ならぬ千年紀末であり、1200年以上もの昔から歴史の舞台となった道＝古代東海道の駅路を歩こう！

古代東海道 ● 都から海沿いに関東に至る行政権であり、官道名称でもある。足柄峠から関東に入り、相模国府(平塚)、武蔵国府(府中)、下総国府(市川)等を経て、常陸国府(石岡)が終点であるが、その先は勿来関等から奥州方面へ伸びていた。● 古東海道は、相模(三浦半島)から東京湾を渡って上総(市原)から常陸(石岡)に至っていたが、武蔵国の東山道から東海道への編入(771年)、下総4駅の廃止(805年)等を経て、延喜式(927年)に示す《相模-武蔵-下総-常陸》の最短経路が成立したと考えられている。今回歩くコースは、下総国府(市川)と上総国府(市原)を結ぶ路線の一部である。

■ 今回の見どころ

登渡神社 ● 下総台地の海岸段丘の先端に位置し、都川低地の千葉都心部を挟んで亥鼻公園(千葉城)と対峙する要衝。古代東海道の河曲駅があったとも想像できそうな場所である。

市立美術館 ● 中央区役所と併設された都心美術館。旧川崎銀行の歴史的建物を保存し、鞘堂方式で新しいビルに包み込んだユニークな建築。

あるってくるび コンサート

—活動のご報告—

演奏家の息づかいが伝わる生の音の感動を分かち合いましょう！

—これからのスケジュール—

□ 百鬼丸の切絵教室 三番町ギャラリーにて
2月8、22日(月) 午後1時から4時

□ (財)東京子ども図書館の見学会
2月27日(土) 午後2時現地集合

□ 会場当番ボランティア・募集のお知らせ

3月4、5、6、7、11、12、13、14日の圓城寺さんの個展
前半12:00～16:00、後半16:00～19:00 いずれか

千葉城址 ● 千葉都心部を見下ろす台地先端にある中世・千葉氏の本拠地(1126～1455)。現在は立派な天守閣城が建っているが、もちろん中世にこんな城は実在しなかった。

千葉寺(せはじ) ● 市内最古、709年創建の古刹。

青葉の森公園 ● 旧畜産試験場の跡、公園内には充実した中央博物館があるほか、珍しいことに、江戸時代の東金街道が自然の中に旧状のまま保存されている。

生実町 ● 近世森川氏の陣屋跡や北生実城址が並び、陣屋の門前通りの面影が残る。

南生実町 ● 大覚寺山古墳、森台貝塚、南生実城址などが集まり、市の埋蔵文化財センターが設置されている。上総国府(市原)から佐倉・成田を経て常陸国府(石岡)へ直行する初期東海道本道との合流点であり、この付近に大倉駅があった(後に廃止)とも推定される。

以上、あるく会 ● 会報224号より

当日はとても暖かく、歩いていると汗ばむような一日でした。千葉城址がある台地の先端は北に都川が流れ、西は千葉都心部を見下ろし、自然の地形を生かした要衝であったことが想像出来ます。南生実城址、八剣神社の位置についても、それぞれ台地の先端に位置し、西に街道を見下ろす場所であることがわかります。東には深く谷津が入り込んだ下総台地が広がっています。学園前駅近くに、谷津田が有りました。休耕田が目立ちます。畑の中の天然ガスのプラントは異様な光景でした。さらに、青葉の森公園には江戸時代の東金街道が自然の中に旧状のまま保存されており、昔の人達の旅姿を想像しておりました。又、千葉市中央区役所と併設されている市立美術館は旧川崎銀行の建物を鞘堂方式で保存したもので、町並みは私達人間の日々の生活の積み重ねである事を再認識しました。

—これからのスケジュール—

今年7月10日(土) 古楽器製作者の右城真さん、林義治さんの二人展でリユート奏者・立川 叔男さんによる演奏があります。